

学校法人城西大学 国際学術文化振興センター

# JOSAI INTERNATIONAL CENTER

for the Promotion of Art and Science  
(JICPAS)

## Newsletter

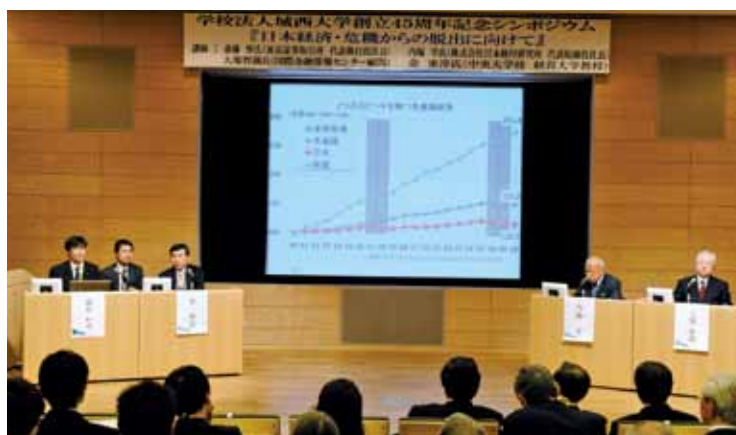
Josai University Educational Corporation  
3-26 Kioi-cho, Chiyoda-ku, Tokyo ☎ 03-6238-1300 <http://www.josai.jp/>

No.12

学校法人城西大学

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

☎ 03-6238-1300

<http://www.josai.jp/>

ディスカッションの様子

**講演会  
シンポジウム**

**学校法人城西大学創立45周年記念シンポジウム**

**「日本経済・危機からの脱出に向けて」開催**

日時…2011年2月23日  
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

2011年2月23日、学校法人城西大学創立45周年を記念したシンポジウムが、東京紀尾井町キャンパスにて開催されました。「日本経済・危機からの脱出に向けて」をテーマに、150名を超える参加者を迎えました。今回のシンポジウムでは、国内外から経済

の各分野の第一線で活躍されている、株式会社東京証券取引所グループ代表執行役社長 齋藤惇氏、株式会社日本格付研究所代表取締役社長 内海孝氏、財団法人国際金融情報センター顧問 大場智満氏、韓国・中央大学校経営大学教授 金東淳氏の4名をお招きし、日本経済の危機からの脱出の道を探っていただきました。

シンポジウム前半では、日本経済の危機とその脱出策について、齋藤氏には証券市場の分析を通して日本経済の再生・活性化の方策、内海氏には国際金融の面からみた日本経済の再生策、大場氏には財政面、国際金融面から、特に最新の情報とユーロ危機の分析を通して再生の道を提言いただき、前半の最後は金氏から韓国経済の再生とその後の躍進策についてご講演いただきました。

後半のパネルディスカッションでは、城西



講演する東京証券取引所社長 齋藤惇氏

### 第1回 日中経済経営フォーラム JOSAI 「中国の経済発展はどこに向かうのか」

講演会  
シンポジウム

日時…2010年12月20日  
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

2010年12月20日、東京紀尾井町キャンパスで「中国の経済発展はどこに向かう

のか」をテーマに、「第1回 日中経済経営フォーラム JOSAI」が開催されまし

た。学校法人城西大学現代政策研究センター主催、学校法人城西大学国際学術文化振興センターの共催によるものです。

フォーラムでは、まず大連市日本経済貿易事務所の陳玉石総代表が「大連経済技術開発区の現状と今後」について講演しました。陳総代表は1980年代の開発当時から、産業施設だけではなく、大学などの教育、スポーツ・娯楽施設などを完備した人口55万人の「都市」にまで発展した経済技術開発区の歴史について説明されました。続いて学校法人城西大学と学術交流協定を結んでいる大連理工大学工商管理学院教授遲国泰先生が「中国金融業界の近況」について講演なされました。

会場には大連を中心とした中国への進出企業の関係者や大連からの留学生らが詰めかけました。会場に入りきれず、ホール外に設置された中継テレビで講演を聴く学生の姿も見られました。質疑応答も活発になされ、企業関係者からの高い関心がうかがえました。



日中経済講演する陳玉石 総代表



## グローバル政策イニシアティブ(GPI)

### フォーラム2010開催

日時…2010年11月27日

場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

2010年11月27日東京紀尾井町キャンパス302教室で「グローバル政策イニシアティブ(GPI)フォーラム2010」が行われました。独立行政法人国際交流基金が後援を行い、JICPASおよび城西国際大学大学院国際アドミニストレーション専攻が共催して参加しました。

「対内・対外政策の戦略的融合」を総合テーマとし、第1部では、「政策羅針盤」会

議として、衆議院議員中林美恵子議員をはじめ、財政、外交、人口問題、国内予算制度等それぞれの専門の方がコメントーターとして参加し発表を行いました。現政権の問題点や、国際政治、経済等様々な角度から発表が行われ、現在の政策および今後の政策について、白熱した議論が行われました。コーディネーターとして、城西国際大学大学院アドミニストレーション専攻客員教授鈴木崇弘先生

が参加、最後に開催の意義を確認するとともに、様々な問題に対し前向きに考えていくことの大切を説明しました。

第2部では、「外国人労働者をより良く受け入れるための政策選択とは…日米知識共有」をテーマに議論がなされ、米国・東西センター客員研究員清水美香先生がコーディネーターをつとめられました。関西学院大学教授上野真城子先生など、それぞれの専門家が

が移民問題、雇用問題、米国移民労働者政策について発表されました。

会場には城西国際大学の学生、一般来場客を含め、70名が出席し、質疑応答などでも活発な意見が飛び交われました。グローバル社会における日本の政策について審議されたフォーラムとなり、終了後も参加者が真剣な眼差しで考え、意見交換するなど、開催の意義が十分伝わったフォーラムとなりました。



第1部：ディスカッション



第1部で発表する中林議員

## JICPAS公開講座

### 「国家イノベーション：フィンランドから何を学ぶか」

日時…2010年11月24日

場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス



2010年11月24日に、フィンランド・ヘルシンキ大学からレイヨ・ミエッティネン教授を講師として迎え、東京紀尾井町キャンパス

スにおいてイノベーションと国家政策に関する公開講座が開催されました。当日は、城西国際大学大学院国際アドミニストレーション



専攻の院生を中心に、城西大学大学院生、一般社会人の方々を含む約40人の受講者が参加し、1時間半にわたり、ミエッティネン教授の講義と、静岡県立大学大学院講師森勇治先生の通訳と解説、最後に受講者との質疑応答が交わされました。

イノベーションは現代の経営学における重要な概念として、すでに様々な角度から研究がすすめられている分野で、城西国際大学大学院国際アドミニストレーション専攻や城西大学大学院経営学研究科にもビジネス・イノベーションの科目が設けられ、活発な研究、教育活動が行われています。フィンランドは、技術革新の商業化として展開されたイノベーションの考えを、地域活性化や教育など



受講者との質疑応答

の分野にまで適用し、国家政策として取り入れた最初の国として知られています。

ミエッティネン教授の講義では、国家イノベーションシステムと産業イノベーション研究および政策立案との関連に加えて、総合学習制度などの教育政策の重要性が指摘されました。また、社会的弱者の排除政策の不合理性、第2次福祉社会の到来など、社会心理学からの新しい分析方法が紹介され、最後に受講者の質問に応じて講座を終了しました。



ミエッティネン教授を囲んで

## ヤングチャレンジ 日韓社会的企業フォーラム

日時…2010年11月19日  
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

講演会  
シンポジウム

2010年11月19日東京紀尾井町キャンパス

ス地下ホールで「ヤングチャレンジ

日韓社



左から鈴木崇弘先生、松田公太議員、武藤清氏

会的企業フォーラム」が行われました。独立行政法人国際交流基金の日韓社会的交流事業の一環として、行われ、JICPASおよび城西国際大学大学院国際アドミニストレーション専攻も協力という形で参加いたしました。日本・韓国の大学生および一般来場客が多く参加され、第1部、第2部共に充実した内容となりました。

第1部では、日韓の若者に向けたパネルディスカッションが行われ、株式会社企業再生支援機構執行役員である武藤清氏、タリーズコーヒージャパン株式会社創設者で参議院議員の松田公太議員がパネラーを、城西国際大学大学院アドミニストレーション専攻客員教授鈴木崇弘先生がコーディネーターを担当し、それぞれの立場から示唆にとんだ話がありました。現代の日韓に共通することとして、次代を担う若者たちに対し、早くからミ

クロマクロの視点から、経済への理解と分析能力を学ぶための教育が必要であるとの点において、皆さんの意見が一致しました。

第2部では、韓国社会における若者の支援と可能性について学生3名が発表を行いました。また、特定非営利活動(NPO)法人の若者就労支援団体「育て上げ」ネット工藤啓理事長が発表に対するコメントと「育て上げ」ネットの活動発表を行い、最後に日本と韓国が今後も協力し合い、若い学生の時期から交流し、いろいろな問題を共に考えていく場を増やす事が大切であるとまとめられました。

今回は、企業を目指す学生たちにとって、成功モデルとしてあこがれの松田議員の参加もあり、食い入るように聞き人っていた参加者が多く、非常にインパクトのある実際のフォーラムとなりました。



第2部の発表の様子

# 国際交流活動

シヨールム・ラーズロー大統領閣下訪問記念

## 水田宗子ハンガリー奨学生表彰式

日時：2010年10月7日  
場所：学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス



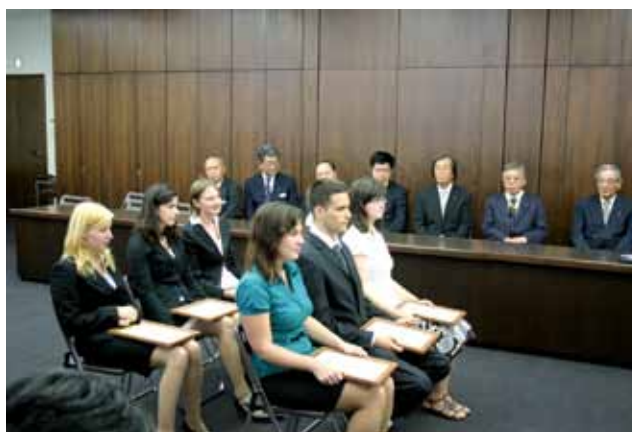
水田宗子ハンガリー奨学金は、2009年12月ハンガリー共和国大統領であるシヨールム・ラーズロー大統領閣下(当時)が、東京紀尾井町キャンパスを表敬訪問されたことを記念して、ハンガリーと日本の懸け橋となる人材育成を目的とした、ハンガリー学生の留学費用を助成する奨学金制度です。

10月7日に「水田宗子ハンガリー奨学生表彰式」が、東京紀尾井町キャンパスで行われました。



表彰式の様子

表彰式が、東京紀尾井町キャンパスで行われました。ブダペスト商科大学、セントイシュトバン大学、エドヴェシユ・ロラインド大学の奨学生6人が出席する中、水田宗子理事長が「皆さんが日本に留学したことを心からお喜び申し上げます。実際に生活してみると、外から見た日本と違う面があることに気付くでしょう。若いうちに、そうした体験をすることは



最初の奨学生となった学生たち

大変良いことです。国境を超えた人間になり、ハンガリーと日本の懸け橋になってください」と挨拶しました。

奨学生を代表して、パトコー・アーゲネシュ・アンナさん(城西国際大学観光学部)が「1年間、観光学部に学ぶことになりました。ありがとうございます。日本語をもっと勉強し、観光について学び、両国の交流促進のために何かできるようになりたいと考えています。また、日本語教師になりたいという夢も持っていますので、実現できるようにがんばります。」と日本語でお礼の言葉を述べました。

### ハンガリー大使館主催 城西大学・城西国際大学

### ハンガリー留学生歓迎会



日時：2010年10月7日  
場所：ハンガリー大使館

学校法人城西大学へハンガリーから「水田宗子ハンガリー奨学金」による学生が入学してきたことをうけ、ハンガリー大使館が、2010年10月7日午後12時より、留学生歓迎会を開催してくださいました。

城西大学から5名、城西国際大学から12名のハンガリー留学生が招待され、また、ハンガリーに留学経験のある日本人学生および、ハンガリー語を学習している学生も両大学から4名ずつ招待されました。

ボハール・エルヌーハンガリー特命全權大使、ボジク・ペーラ副大使、アルベルト・ヤーノシュ領事の他、多くの大使館関係者が歓迎会に参加され、ハンガリー料理が振舞われる中で交流が行われました。ボハール大使は、このように活発な若い人たちと交流ができるようになったのも水田理事長のリーダー

2010年度 9月の奨学生

◎城西大学2名：

エドヴェシユ・ロラインド大学 女性1名  
セントイシュトバン大学 男性1名

◎城西国際大学4名：

ブダペスト商科大学 女性1名  
エドヴェシユ・ロラインド大学 女性3名

シップと理解のおかげですと謝辞を述べ、城西大学で勉強することで、将来、ハンガリーと日本の交流の懸け橋として活躍できる人材になってほしいと挨拶し、学生一人一人と親しく嬉しそうに話しながら、激励していました。

また、水田宗子理事長から、このような場を学生たちのために設けてくださったお礼とこれを契機にさらに幅広くハンガリーとの交流をはかっていきたいと挨拶がなされました。

そして、この奨学金スタートの記念として民芸品『川越まつり山車』をボハール大使に贈呈し、また、現在ハンガリー語を勉強中の城西国際大学国際交流学科4年渡久山南葵さんが沖縄民謡を演奏するなど、終始にぎやかな中で、歓迎会が行われました。





### ウエルネス交流DAY

日時：2010年10月16日  
場所：城西国際大学安房キャンパス

## 城西国際大学ハンガリー留学生歓迎会

2010年10月16日、開学5年目を迎えた観光学部・安房キャンパスにて「第5回ウエルネス交流DAY」を開催しました。

城西国際大学へ留学してきた学生たちの入学を記念し、ハンガリー、中国、台湾、韓国などからの留学生たちが、地域の皆様と一緒にアカシア3本を植樹しました。交流DAY開祭式においては、毎年にごや



大使館 ボハール大使にお礼を伝える留学生たち



歓迎会の様子

かに開催されている「さくら祭り」のテーマソングが初めて披露されました。これは、城西国際大学で学ぶフォークデュオLOFTが、さくら祭りのために作詩・作曲したものです。当日、ハンガリーからの留学生たちも一緒に歌っていました。

今年度、観光学部でハンガリーからの留学生を初めて迎えたことから、ハンガリー政府



城西・ハンガリー学生親善交流大使パーバ・アレクサンドラさん(右)とティマル・シャーンドルさん(左)

観光局のコーシャ・バーリン局長をお迎えし、特別講演「ハンガリーの歴史と観光資源」を開催しました。コーシャ観光局長は、集まった120名の聴衆を前に、ハンガリーの歴史を紐解きながら、ハンガリー文化の持つアジア的な側面とヨーロッパの側面を語られました。  
また、ハンガリーから初めて迎えた留学生にハンガリーと日本の懸け橋になってほしいという願いを込めて、城西大学と城西国際大学のハンガリー人留学生からそれぞれ1名ずつ「城西・ハンガリー学生親善交流大使」を任命しました。最初の親善交流大使となったのは、城西大学経営学部ティマル・シャーンドルさんと城西国際大学観光学部パーバ・アレクサンドラさんです。ほかにもハンガリーの民族舞踊の披露や物産展、ハンガリー伝統料理の販売も行われ、ハンガリーという国について知るよい機会となりました。



留学生入学記念植樹式



ハンガリー観光局コーシャ局長の特別講演





マールトン議員と学生との交流会風景

2010年12月17日、マールトン・アッティラハンガリー・日本友好議員連盟副会長が東京紀尾井町キャンパスを訪れ、学生らと交流しました。これは、本学においてハ



日時…2010年12月17日  
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

### ハンガリー・日本友好議員連盟副会長

### マールトン議員が来学

多くの留学生を迎える観光学部にふさわしく、各国からの留学生による日本語スピーチコンテスト、日本人学生による中国語・ハンガリー語・スペイン語・韓国語でのスピーチコンテストを行い、日頃の語学学習の成果を披露しました。また、学生プロジェクト発

表、バンド演奏、鴨川シーワールド40周年記念イベント、亀田クリニック無料歯科検診など多くのイベントに、地元の皆様にも多数ご参加いただきました。



マールトン議員の来学を記念して

ンガリー語を学習している学生数が約250名と首都圏で突出して多いことからマールトン議員が、学生と直接話したいと熱望されたの来訪です。



城西大学へ留学しているハンガリー人学生と



日時…2011年1月24日  
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

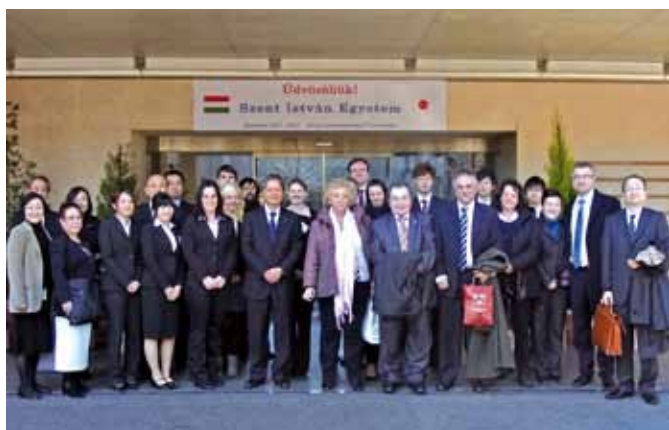
### セントイシュトバン大学経済学部一行

### 水田理事長を表敬訪問

マールトン議員は「大統領がいらっしゃった日本の大学にわたしも訪問できて光栄です。日本とハンガリーの経済・文化の関係強化、そして人的関係の強化がわたしの職務です。きょうは学生との交流が楽しみです」と挨拶されました。

このあとマールトン議員は、本学城西・ハンガリー学生親善交流大使であるティマー・シャインドルさんとパーパ・アレクサンドラさんの案内で、キャンパスを見学しまし

た。その後、地下ホールで、ハンガリーからの交換留学生9名、そしてハンガリー語を履修している城西大学、城西国際大学の学生と交流されました。マールトン議員は学生らに「ハンガリーの歴史上の人物でだれを知っていますか」などと問いかけました。学生のハンガリー語による質問に非常に発音がいいですと感想を述べつつ、丁寧に一つ一つ答えておられました。



城西国際大学にて

2011年1月24日セントイシユトバン大学経済学部より、Laszlo Villanyi学部長、Laszlo Guth教授、Laszlo Vasa教授（国際担当）の3名が、東京紀尾井町キャンパスに水田理事長を表敬訪問しました。

セントイシユトバン大学からは、学生たちが、城西大学・城西国際大学で学んでいます。表敬訪問の席においては、両校の交流がスピーディに実のある展開がなされており、今後さらに学生交流、また所在する市レベルの交流の推進についてもさらにすすめていくこととなりました。

一行は、その後城西大学を訪問。城西大学教職員はもとより、セントイシユトバン大学からの学生をはじめハンガリーからの学生を含む留学生、ハンガリー留学経験のある日本人学生たちとの交流も行われました。訪問さ

れた先生方も両国の学生の交流が深まり、留学生たちが元気で楽しく学び、町に溶け込み、さまざまなことにチャレンジしていることに喜んでおられました。

翌日は、幕張キャンパスと東金キャンパスを訪問し、今後の交流について学部レベルのミーティング、鴨川市からも市代表が、観光学部所在地である鴨川市とセントイシユトバン大学があるハンガリー・ゴドロー市の交流協定の推進について、積極的な話し合いがなされました。また学生たちとの交流も行い、2月3日に同大学に留学予定の学生と面談やメディア学部の学生によるVillanyi学部長インタビューも行われました。最後は、お茶室にて茶道のおもてなしを受け、はじめてのお茶に感動したと大いに城西国際大学滞在を楽しめました。

## 東京紀尾井町キャンパスで日本文化体験講座を開講

日時…2010年11月15日

場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス



2010年9月に城西大学、城西国際大学へは、約450名の留学生が入学してきました。このことをよい契機として、在学する留学生を対象とした「日本伝統文化体験講座」を11月15日からはじめました。これは、全14回の講座で、毎週月曜学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス2号棟地下1階茶室にて、実技を中心とした学びの場とされています。

茶道を通して、日本伝統文化を理解してもらうことを主眼にしており、同時に和服の着付け、華道、日本語指導などを学びます。また、この講義においては、日本での就職活動

や社会に出たときにすぐに役立てるよう、礼儀作法も重要視しています。

第1回目は交換留学生を特別招待し、参加者は両大学合わせて59名となりました。城西国際大学国際教育センター研究員のブルチョウ順子先生の指導で、茶道のお手前を体験し、たてたばかりの抹茶を口にして感動している学生が多く見られました。

【今回参加した留学生の国籍】

アメリカ、韓国、スペイン、ハンガリー、フィリピン、フィンランド、フランス、台湾、中国、ノルウェー 10カ国 19大学



お茶を楽しむ

## 東西大学校曹増成先生特別講演

### 「サービス産業と国家競争力」

日時…2010年12月14日

場所…城西大学



2010年12月14日、韓国・釜山の東西大学校の曹増成大学院長をお招きして、城西大学清光ホールで「サービス産業と国家競争力」と題して特別講演を行いました。

現在、成長エンジンとしての製造業が限界を見せ、新成長産業の発掘が切実に求められている中、Apple社の成功にみられるように、サービス産業が新しい成長主



全員で記念撮影



導産業として注目されています。曹先生は、国家競争力としてサービス産業が期待される中で、教育界が企業や地方自治体と共同して新しい産業分野について研究することが必要だと述べました。また、東西大学校では、サービス革新デザイン研究所と大学院にサービスデザイン科を設置し、教育の場から研究を通じて、サービス産業の生産性と効率性を高めることでサービス産業の



講演される曹増成先生

発展に寄与しようと取り組んでいることを紹介されました。

この模様はサテライトで韓国・東西大学校、城西大学東京紀尾井町キャンパス、城西国際大学東金キャンパス・安房キャンパスにつながれ、両国の学生らは熱心に聞き入っていました。講義の最後には韓国・東西大学の学生との質疑応答もあり、両校の学生たちが交流することができました。



サテライトで韓国と結んで

町キャンパスに、水田理事長を表敬訪問しました。

今回の訪問は、両大学の姉妹校学術教育協定に基づき、学部を共同に設置することに関しての覚書締結、ならびに2011年8月19日から21日に天津外国語大学にて開催される「日本語教育国際研究大会」において、水田理事長に基調講演をお願いするのが目的のことでした。表敬訪問の場において、覚書の調印式が行われました。また、基調講演についても水田理事長は快諾し、約2200名が世界から集う日本語教育の研究大会において、「異文化コミュニケーション」のための日本語教育」に関連したことについて講演をされることになりました。

天津外国語大学の日本語学院は、昨年、中国の武漢大学が発表した中国大学評価ランキングにおいて、日本語学部で第1位の評価を得られたとのこと、今後本学とのさらなる交流が楽しみです。



修剛先生のあいさつ

## 天津外国語大学と共同学部設置の覚書に調印

日時…2011年1月24日  
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス



2011年1月24日、天津外国語大学修剛

学長と李連博日本語学院院长が、東京紀尾井



## 第6回アジア・太平洋女性学研究奨励賞授賞式を開催

日時…2011年2月18日  
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

城西国際大学ジェンダー・女性学研究所は、2011年2月18日、東京紀尾井町キャンパスにおいて、「アジア・太平洋女性学研究奨励賞」の表彰式を行いました。創立10周年を契機として創立され、今回第6回目となるアジア・太平洋女性学研究奨励賞の受賞者が、選考委員による厳正な選考の結果、冒頭、水田宗子理事長より、これまで城西

国際大学ジェンダー・女性学研究所が推進してきた研究活動の紹介、この賞の意義、そして受賞者へのお祝いと大きな期待が語られました。

本年度の受賞者は、首席権 慈玉さん（東北大学大学院COE研究員）研究課題「韓国の農民運動における女性領域の拡大過程——1960～80年代における民主化運動の『階級と性』の狭間で」、次席神山典子





権さん挨拶



神山さん挨拶

さん（社会福祉施設勤務）研究課題「婦人保護事業とフェミニズムの断絶の一考察」ウーマン・リブを中心として」でした。  
 選考委員を代表して、小林富久子教授より、「大変レベルの高い応募が多数あった中、特に秀でた二人に賞を授けることができることを大変喜ばしく思う。いずれも将来性を強く感じさせる価値ある論文テーマであるので、この受賞を契機に論文完成してくれることを大いに期待しています」と講評がなされ



クリスティーン・ナカムラカナダ大使館参事官スピーチ



板東久美子文部科学省局長スピーチ

ました。  
 来賓のカナダ大使館参事官クリスティーン・ナカムラ氏、埼玉新聞社会長丸山晃氏、株式会社大林組常務執行役員鹿島裕一氏、一般財団法人高円宮記念日韓交流基金事務局長須々木智行氏、文部科学省生涯学習政策局局長板東久美子氏など多数の方から励ましとお祝いの気持ちのこもったスピーチがなされ、受賞者たちも感激ひとしおの様子でした。



授賞される二人

●選考委員会

委員長	水田 宗子(理事長、ジェンダー・女性学研究所名誉所長)
委員 6名	小林 富久子(早稲田大学教授)
	メリッサ・マコーミック(ハーバード大学教授)
	魚住 明代(教授、ジェンダー・女性学研究所所長)
	和智 綾子(教授、同研究所主任研究員)
	北田 幸恵(教授、同研究所主任研究員)
	原 ひろ子(客員教授、同研究所研究員)

出版活動

出版活動

U.S.-Japan Women's Journal 第39号発刊

今号のテーマは、「家計と社会経済における女性の役割」であり、日本史、日本文学のテクストから女性の社会的位置づけ、文

化表象を読み解いています。U.S.-Japan Women's Journalは、販売もしていません。購入方法、バックナンバーな

## ●周辺図



## アクセス インフォメーション

- 東京メトロ有楽町線 麹町駅1番出口より徒歩3分
- 東京メトロ半蔵門線・南北線 永田町駅9a番出口より徒歩5分
- 東京メトロ丸ノ内線・銀座線 赤坂見附駅D出口より徒歩8分
- JR中央線・総武線 四ツ谷駅より徒歩10分



どについては学校法人城西大学国際学術文化振興センター (JICPAS) の Web サイトをご覧ください。  
(<http://www.josai.jp/jicpas/usjw/j/orders.html>)

出版活動

## Review of Japanese Culture and Society 第22号刊行

今号は「日本の映画理論を再考する」をテーマに、在外研究者による論考およびこのテーマに関わる日本語論文の英語翻訳文などが掲載されています。

Review of Japanese Culture and Society は日本人と日本文化をテーマとする英文誌で、販売もしています。購入方法、バックナンバーなどについては学校法人城西大学国際学術文化振興センター (JICPAS) の Web サイトをご覧ください。  
(<http://www.josai.jp/jicpas/RJCS/>)



学校法人 城西大学

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26 TEL.03(6238)1300

学校法人 城西大学 <http://www.josai.jp/>城西大学 <http://www.josai.ac.jp/> 城西国際大学 <http://www.jiu.ac.jp/>

学校法人 城西大学 国際学術文化振興センター

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26  
TEL 03(6238)1300 FAX 03(6238)1299